

～ 地域の魅力“いいとこ”“いいもの”発信！～

商工会女性部 おもてなし交流事業「おもてなしプラン」提案書

都道府県名	岩手県		市町村名	岩手町
ふりがな	いわてまち		しょうこうかいじょせいぶ	
★ 女性部名	岩手町		商工会女性部	
所在地	岩手県岩手郡岩手町大字江刈内9-65-1			
URL	http://www.shokokai.com/iwatemachi/			
TEL	0195-62-2760	FAX	0195-62-4844	
E-Mail	iwatemachi@shokokai.com	女性部担当者	赤穂 博之	
女性部長氏名	藤原 淳子	女性部員数	65人	
部費 (年間1人あたり)	1,500円	平成26年度 女性部予算総額	1,312千円	
設立年月日	昭和44年5月1日	設立後年数	46年	

★ おもてなしプラン 名称	悠久の大河・北上川の源泉の地 3つの駅を巡る ～ 岩手町商工会女性部によるおもてなし事業～		
★ おもてなしプラン 内容	<p>町内の「4つの駅」のうちから「3つの駅」を巡り、町内について知識を深めてもらうとともに、道の駅「石神の丘」では、満開のラベンダーを鑑賞しながら野立てを楽しめます。</p> <p>「町の駅」は、「よりーじゅ」という愛称で親しまれている中心商店街大町地区にある町民憩い場です。沼宮内伝説の主人公「寄寿姫」の像の他「沼宮内」の由来がわかる壁画が飾られています。</p> <p>「川の駅」に隣接している「御堂観音」の境内には、北上川の源泉があります。</p> <p>「道の駅」では、産地直売・レストランに加え、「石神の丘美術館」を併設しており、ここで女性部と交流できる場として企画します。</p>		
受入可能時期	6月下旬から7月上旬	受入人数上限	20名
おもてなしポイント	岩手町観光ボランティアガイドの会の協力を得ながら、町内「3つの駅」を回り、町内について知識を深めてもらうとともに、道の駅「石神の丘」では、満開のラベンダーを鑑賞しながら野立てを楽しみます。		
★ 県内の女性部へ メッセージ・PR	日本で唯一県名・郡名・町名が同じ町の岩手町です。北上川の源泉であり、町全体に彫刻があり大きな美術館となっています。 我が「いわてまち」にぜひお越しください。		
特色ある 女性部事業	「目くばり・気くばり・あいさつ運動」事業で、毎月第1、第3木曜日の午後2時半～3時半まで部員がタスキを着用し、町内各地の通学路内交差点及び横断歩道で、下校時の小学生を見守る交通安全運動を継続して行っています。		
市町村の概要 (人口・主要産業等)	北緯40度線上に位置し、人口約14,000人の町であり、面積の約76%が山林・原野となっています。中央には東北一の大河・北上川が北部の御堂観音堂境内の弓弭(ゆはず)の泉から流れています。 岩手町では、水稲、園芸、畜産、葉タバコを柱とした「岩手町型複合経営」を進めています。特にも春系キャベツ「いわて春みどり」は消費者から大変好評を得ています。		
アクセス方法	新幹線：東京駅より最速2時間27分、IGR：盛岡駅より最速33分□ 自動車：東北自動車道滝沢I.C.より国道4号北へ約30分		

★印のついている項目は、PRチラシに記載する必須項目です。



岩手県岩手郡岩手町 北緯40度、悠久の大河・北上川源泉のまち



川の駅



川の駅の向かいにある「御堂観音(みどうかんのん)」の境内には、北上川の源泉があります。平安時代後期「前九年の役」の際、八幡太郎義家が弓弭(ゆはず)で岩頭を突いたところ、清水が湧き出て炎天下に苦しむ兵馬を救ったという伝説の泉です。

「よりーじゅ」という愛称で親しまれている中心商店街大町地区にある町民憩いの場、消費者と生産者の交流の場として利用されています。

沼宮内伝説の主人公「寄寿姫(よりじゅひめ)」の像があり、「沼宮内(ぬまぐない)」の由来がわかる壁画が飾られています。

街の駅



道の駅



休憩・情報・交流・地域の連携機能として国土交通省で整備した道路情報休憩施設、町が整備した産地直売・レストラン・農作物加工施設、そして石神の丘美術館を併設しております。石神の丘美術館からは、姫神山や岩手沼宮内駅が眺望できるラベンダー畑は必見です。

見学コースについて(約2時間)

街の駅→川の駅→道の駅

道の駅では、食事のほか産直での買い物や美術館の鑑賞もできます。



岩手町商工会女性部 〒028-4303 岩手県岩手郡岩手町大字江刈内9-65-1

TEL:0195-62-2760 FAX:0195-62-4844